

松浦市の取組

防災教育カリキュラム（参考例）

- 各教科
- 道徳
- 特別活動
- 総合的な学習の時間

— 目 次 —

○松浦市立鷹島小学校

- ## • 特別活動

1年生	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	1
2年生	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	5
3年生	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	9
4年生	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	14
5年生	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	19
6年生	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	24

- | | | | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|---|---|----|
| ・ 1 年生年間指導計画 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 29 |
| ・ 2 年生年間指導計画 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 30 |
| ・ 3 年生年間指導計画 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 31 |
| ・ 4 年生年間指導計画 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 32 |
| ・ 5 年生年間指導計画 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 33 |
| ・ 6 年生年間指導計画 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 34 |

○松浦市立鷹島中学校

- | | |
|--------------|-------|
| ・ 1 年生年間指導計画 | ・ 3 5 |
| ・ 2 年生年間指導計画 | ・ 3 8 |
| ・ 3 年生年間指導計画 | ・ 4 1 |
| ・ 総合的な学習の時間 | ・ 4 4 |
| ・ 特別活動 | ・ 4 7 |

1年(1)

1. 学習項目	ひなんのたいせつさをしろう
2. 指導目標	○地震とはどのようなものかを知り、すぐに避難しなければならないことを理解する。 ○避難場所を知る。

3. 展開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)大きな地震があったときの被害について話し合う。 (2)学習課題「ひなんのたいせつさをしろう」を把握する。	
展 開	(1)地震とはどのようなものか知っていることを話し合う。 (2)東日本大震災の津波の映像を見て、気付いたことを話し合う。 (3)学区の地図を使って、地震があったらどこに逃げたらよい かを確かめる。 (4)それらの避難場所はどのような場所にあるのかについて話し合 う。 (5)「地震がきたら、どうするの？」の紙芝居を見る。 ・避難の仕方を知る。	2011年東日本 大震災の動画 学区の地図 紙芝居
ま と め	(1)学習して気付いたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。	ワークシート

1年(2)

1. 学習項目	しぜんさいがいについてしろう
2. 指導目標	○地震や津波などの自然災害はどのようにして起きるか、その起きる仕組みを知る。

3. 展開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)過去の被災写真を見せ、このような災害が将来発生する可能性があることを紹介する。 (2)学習課題「しぜんさいがいについてしろう」を把握する。	
展 開	(1)資料を見て、自然災害について知る。 (2)自然災害の体験談を聞く。	地震、津波、台風、大雨、洪水、火山の写真 体験談の本
ま と め	(1)学習して気付いたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめると。	ワークシート

1年(3)

1. 学習項目	つなみのおそろしさをしろう
2. 指導目標	○津波の速さと流れの強さ(破壊力)について知り、津波について理解する。

3. 展開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)自然災害について復習する。 (2)学習課題「つなみのおそろしさをしろう」を把握する。	自然災害の写真
展 開	(1)津波の恐ろしさを理解する。 ・津波とは大きな水のかたまりであること ・車や家を押し流すほどの強さであること ・たとえひざくらいの高さでも、人は立っていられないこと ・津波の具体的な速さとものを飲み込み、押してくる怖さについて ・津波が来てから避難を開始したのでは、間に合わないこと (2)避難の方法を確認する。 (3)避難の練習をして、振り返る。	津波の速さに関する資料
ま と め	(1)学習して気付いたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。 ・津波から命を守るためにには、早く高いところに避難することが必要であることを確認する。 (3)関連図書の読み語りを聞く。	ワークシート

1年(4)

1. 学習項目	防災マップをつくろう
2. 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ○地震や津波などの自然災害の恐ろしさを知り、自分の家の周りにある避難場所や危険な場所を知る。 ○自分の地区でも、とにかく高い所へ避難することが大切であることを理解する。

3. 展開

過程	主な学習活動	備考
導入	<p>(1)映像を見て、津波の恐ろしさを復習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波の破壊力を確認し、命を守るために逃げるしかないことを確認する。 ・鷹島にも津波が来る可能性があることを確認する。 <p>(2)学習課題「避難場所を簡単な地図にまとめる」を把握する。</p>	2011年東日本大震災の動画または写真
展開	<p>(1)どのくらいの津波が襲来する可能性があるのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図を見て、自分の地区だったら、どこまで水がくるか予想する。 <p>(2)津波は想定した範囲で来るとは限らないことを理解し、とにかくできるだけ高い所に避難しなければならないことを確認する。</p> <p>(3)事前に作ってきた「家の周辺の防災マップ」を見ながら、グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の避難場所はどこか。 ・危険な場所はどこか。 <p>(4)確認しながらグループごとに発表する。</p>	鷹島の地図 自宅周辺の地図
まとめ	<p>(1)一人一人の「防災マップ」を地区ごとにまとめたり、島全体でまとめたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波の避難場所が高くて広い場所であったことをおさえる。 ・津波はどこまでくるかわからないので、とにかく高い所へ避難することをしっかりおさえる。 	鷹島の地図 自宅周辺の地図

2年(1)

1. 学習項目	ひなんの大切さを知ろう
2. 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ○津波とはどのようなものかを知り、すぐに避難しなければならないことを理解する。 ○避難場所を知る。

3. 展開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	<p>(1)大きな地震があったときの被害について話し合う。 「大きな地震の後には、津波がおこる可能性が高い」ことをおさえる。</p> <p>(2)学習課題「ひなんの大切さを知ろう」を把握する。</p>	
展 開	<p>(1)津波とはどのようなものか知っていることを話し合う。 「大きな地震の後には、津波がおこる可能性が高い」ことをおさえる。</p> <p>(2)東日本大震災の津波の映像を見て、気付いたことを話し合う。 ・「津波によって、街中に煉瓦が流されてくる」ことをおさえる。 ・「津波から命を守るためにには、避難することが大切である」ことを確認する。</p> <p>(3)学区の地図を使って、大きな地震があつたらどこに逃げたらよいかを確かめる。 ・学校から一番近い避難場所と、各自の自宅から一番近い場所を見つける作業をする。</p> <p>(4)それらの避難場所はどのような場所にあるのかについて話し合う。 ・「高い場所にある」ことをおさえる。</p> <p>(5)「津波てんでんこ」の絵本を見て、知る。 ・「津波がくるときには、親、子どものこととかまわずに、てんてばらばらに早く高台へ避難しろ」というものである。家族のことを気にかけている間に、津波が襲来して一家全滅してしまうことを防ぐための言い伝えだと言われている。 ・津波から命を守るためにには、たどえ一人でいたとしても、早く高い所に避難することが必要であることを確認する。</p>	2011年東日本大震災の動画 学区の地図 図書
ま と め	<p>(1)学習して気付いたことをプリント等に記入する。</p> <p>(2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。 津波から命を守るためにには、早く高い所に避難することが必要であることを確認する。</p>	ワークシート

2年(2)

1. 学習項目	自ぜん災害について知ろう
2. 指導目標	○地震や津波などの自然災害はどのようにして起きるか、その起きる仕組みを知る。

3. 展開

過程	主な学習活動	備考
導入	(1)過去の被災写真を見せ、このような災害が将来発生する可能性があることを紹介する。 (2)学習課題「自ぜん災害について知ろう」を把握する。	2011年東日本大震災の写真
展開	(1)台風被害の映像を見て、気付いたことを話し合う。 (2)資料を見て、自然災害の起こり方について知る。 (3)地震被災関連の絵本の話を聞く。(「おひさまいろのりんご」)	台風被害の動画 地震、津波、土砂崩れの図 絵本
まとめ	(1)学習して気付いたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。	ワークシート

2年(3)

1. 学習項目	津波の速さと流れの強さを知ろう	
2. 指導目標	○津波の速さと流れの強さ(破壊力)について理解する。	
3. 展開		
過程 導入	(1)東日本大震災の津波の映像を見て、気付いたことを話し合う。 (2)話し合いの中から、「人が簡単に流されてしまうほど津波の流れは強い」ことをおさえる。 (3)学習課題「津波の速さと流れの強さについて知ろう」を把握する。	2011年東日本大震災の動画
展開	(1)映像を見て、気付いたことを話し合う。 ・たとえひざぐらいの津波でも立っていることはできないことをおさえる。 ・津波の中を歩くことはできないことをおさえる。 ・ひざぐらいの津波でも、家の中がぐちゃぐちゃになるほどの被害になることをおさえる。 (2)資料を見て、津波の速さについて知る。 ・車などの例から、津波の具体的な速さについて説明する。 (津波の速さは水深に比例する。) ・津波が来てから避難を開始したのでは、間に合わないことをおさえる。 (3)避難の方法を確認し、練習する。 (4)避難の練習をして、振り返る。	津波の速さに関する資料
まとめ	(1)学習して気付いたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。 ・津波から命を守るために、早く高いところに避難することが必要であることを確認する。	ワークシート

2年(4)

1. 学習項目	防災マップを作ろう
2. 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ○地震や津波などの自然災害の恐ろしさを知り、自分の家の周りにある避難場所や危険な場所を知る。 ○自分の地区だったら、どこまで水がくるかを予測したり、津波はどこまでくるかわからないこと「想定を信じるな」を理解したりする。

3. 展開

過程	主な学習活動	備考
導入	<p>(1)映像を見て、津波の恐ろしさを復習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波の破壊力を確認し、命を守るために逃げるしかないことを確認する。 ・鷹島にも津波が来る可能性があることを確認する。 <p>(2)学習課題「避難場所を地図にまとめる」を把握する。</p>	2011年東日本大震災の動画または写真
展開	<p>(1)どのくらいの津波が襲来する可能性があるのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図を見て、自分の地区だったら、どこまで水がくるか予想する。 ・町探検で見学した場所と関わらせながら、商店や郵便局など地図の中でわかりやすいもののどこまで津波が来るかを考えさせる。 <p>(2)津波は想定した範囲で来るとは限らないことを理解し、とにかくできるだけ高い所に避難しなければならないことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップに記された浸水範囲を信じて、犠牲になった人は少なくないことをおさえる。 <p>(3)事前に作ってきた「家の周辺の防災マップ」を見ながら、近くの地区的グループに分かれて、話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の避難場所はどこか。 ・危険な場所はどこか。 <p>(4)確認しながらグループで発表する。</p>	<p>鷹島の地図</p> <p>自宅周辺の地図</p>
まとめ	<p>(1)一人一人の「防災マップ」を地区ごとにまとめたり、島全体でまとめたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波の避難場所が高くて広い場所であったことをおさえる。 ・津波はどこまでくるかわからないので、とにかく高い所へ避難することをしっかりとおさえる。 	<p>鷹島の地図</p> <p>自宅周辺の地図</p>

3年(1)

1. 学習項目	いろいろな避難場所を知ろう
2. 指導目標	○地震や津波などの自然災害の恐ろしさを知り、自然災害から命を守るためにには、日頃からどのようなことをしておかなければならないのかについて関心を持つ。

3. 展開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)東日本大震災の津波の動画を見て、津波の恐ろしさについてイメージをもつ。 (2)動画を見て、気付いたことを話し合う。 (3)学習課題を把握する。	東日本大震災の津波の動画
展 開	(1)津波から命を守るためにには、知識としてどのようなことが必要か考える。 (2)避難場所に関する知識として、標識があることを教える。 (3)「津波てんでんこ」の絵本の読み語りを聞く。 (4)本当にてんでんばらばらに避難することができるか、話し合う。 (5)家族みんなで避難するために、日頃からしておかなければならぬことを理解する。	津波に関する標識 「津波てんでんこ」(絵本)
ま と め	(1)学習して気付いたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。 (3)自分の住んでいる地域の避難場所を調べて、家族で相談しておくように伝える。	学習まとめプリント

3年(2)

1. 学習項目	自然災害から身を守る方法を知ろう
2. 指導目標	○自然災害の恐ろしさを知り、災害から身を守るための正しい行動を知る。

3. 展開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)地震の紙芝居を見て、津波の恐ろしさを知り、感想を発表する。 (2)学習課題を把握する。	地震の紙芝居 「地震が来たらどうするの？」
展 開	(1)いろいろな場所にいるときを想定し、地震が起きたときやゆれがおさまった後の行動を確認する。 ・家にいるとき ・家の近くで遊んでいるとき ・他の地区にでかけているとき など (2)地震時に身を守るための方法を知る。 (3)家にいるときに、大雨で土砂崩れが起こったときの避難場所について話し合う。 (4)自然災害時に避難する場所について確認する。	地震時に身を守るための正しい行動(資料)
ま と め	(1)学習して気付いたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。	学習まとめプリント

3年(3)

1. 学習項目	地震・津波のおこり方を知ろう
2. 指導目標	○地震や津波の起こり方を知り、日本では大きな地震や津波が発生しやすいことを理解する。

3. 展開

過程	主な学習活動	備考
導入	(1)地震の紙芝居を見て、地震が起きる原因を知り、感想を発表する。 (2)学習課題を把握する。	地震の紙芝居 「地震ってどうして起きるの？」
展開	(1)地震分布を示す資料を見て、地震はどのあたりで起きていたのかを考える。 (2)地震が起きる原因を知る。 (3)日本列島は大きな地震が起こりやすいことを知る。 (4)地震によって津波が起きる原因を知る。 (5)津波と普通の波との違いを予想し、話し合う。 (6)過去の津波による被害を見て、津波の高さを確認する。また、津波が高くなる理由について理解する。 (7)人や車、建物が流されていた様子を見ながら、津波の流れの強さを確認する。 (8)津波の速さがどれくらいであったかを思い出させながら、津波の速さを確認する。	地震分布とプレートの関係(資料) 地震発生の模型(模型) 地震・津波が起きるメカニズム 北海道南西沖地震による奥尻島の被害の写真(資料) 津波が高くなる理由(資料) 50cmの津波の破壊力の動画 津波の速さと波長(資料)
まとめ	(1)学習して気付いたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。	学習まとめプリント

3年(4・5)

1. 学習項目	防災マップづくり
2. 指導目標	○今までに学習した避難場所について、地図にまとめて振り返ることにより、津波の避難について理解を深める。

3. 展開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)町歩きをして、学校や自宅周辺の避難場所や、津波がどこまで来るのかなどを、地図にメモしていく。 (2)学習課題を把握する。	校区の地図(資料)
展 開	(1)自分でしらべた自分の家から避難場所までの地図を参考にしながら危険箇所の確認をする。 (2)自分の調べた内容や、ハザードマップを参考にして、地区ごとの避難場所を白地図に書き込んでいく。 (3)東日本大震災において、ハザードマップに記された浸水域を大きく超える範囲が浸水したことを理解し、「想定にとらわれない」を学習する。 (4)ハザードマップ以上の津波が来た場合の避難場所も考え、地区ごとに、危険場所を入れながら地図に書き込む。	各自で調べた避難場所までの地図 松浦市ハザードマップ(資料) 白地図 想定を超えた津波による浸水域(資料)
ま と め	(1)お互いの防災マップを見合い、情報を交流する。 (2)ハザードマップをもとに、自分の避難場所が有効かどうかを確認する。 (3)学習のまとめの感想をプリントに記入する。	学習まとめプリント

3年(6)

1. 学習項目	自然災害から地域を守る対策を知ろう
2. 指導目標	○自然災害から人や地域を守るために施設や訓練について調べ、進んで避難しようとする態度を育てる。
3. 展開	

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)水門や防波堤などの写真を見て、これらを見たことがあるか話し合う。 (2)岩手県釜石市に整備されていた防波堤が、東日本大震災の津波によって破壊されてしまったことを確認する。 (3)学習課題を把握する。	水門、防波堤の写真(資料) 東日本大震災による釜石市の被害写真(資料)
展 開	(1)防波堤などその他に、防災施設にはどのようなものがあるか調べる。 (2)命を守るための人々の取組について知る。	総合防災訓練の様子の写真(資料)
ま と め	(1)学習して気付いたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。	学習まとめプリント

4年(1)

1. 学習項目	いろいろな避難場所を知ろう
2. 指導目標	○地震や津波の自然災害の恐ろしさを知り、自然災害から命を守るためにには、日頃からどのようなことをしておかなければならないのかについて関心をもつ。

3. 展 開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)東日本大震災の津波の動画を見て、津波の恐ろしさについてイメージを持つ。 (2)動画について、気付いたことを話し合う。 (3)学習課題を把握する。	東日本大震災の動画
展 開	(1)津波から命を守るためにには、知識としてどのようなことが必要かを考える。 (2)避難場所に関する知識として、標識を確認する。 (3)「津波てんでんこ」の意味を復習する。 (4)家族みんなで避難するために、日頃からしておかなければならないことを理解する。 (5)大雨や洪水などのときには、どこに避難すればいいか確認する。	津波に関する標識の図
ま と め	(1)学習してきづいたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。	ワークシート

4年(2)

1. 学習項目	自然災害から身を守る方法を知ろう
2. 指導目標	○自然災害の恐ろしさを知り、自然災害から身を守るための正しい行動を知る。

3. 展開

過程	主な学習活動	備考
導入	(1)東日本大震災の津波の動画を見て、津波の恐ろしさについて感想を持つ。 (2)学習課題を把握する。	東日本大震災の動画
展開	(1)いろいろな場所にいるときを想定し、地震が起きたときやゆれがおさまった後の行動を確認する。 ・家にいるとき ・家の近くで遊んでいるとき ・他の地区にでかけているとき など (2)実際に行動してみる。 (3)行動したあとの感想を何人かに聞く。 (4)家にいるときに、大雨で土砂崩れが起こったときの避難場所について話し合う。 (5)自然災害時に避難する場所について確認する。	地震時に身を守るための正しい行動(資料)
まとめ	(1)学習して気付いたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。	学習まとめプリント

4年(3・4)

1. 学習項目	防災マップづくり
2. 指導目標	○今までに学習した避難場所について地図にまとめて振り返ることにより、津波の避難について理解を深める。

3. 展開

過程	主な学習活動	備考
導入	(1)町歩きをして、学校や自宅周辺の避難場所や津波がどこまでくるのか、などを地図にメモしてくる。 (2)学習課題「避難場所を地図にまとめる」を把握する。	
展開	(1)自分でしらべた自分の家から避難場所までの地図を参考しながら危険箇所の確認をする。 (2)自分の調べた内容や、「ハザードマップ」を参考にして、地区ごとの避難場所を白地図に書き込んでいく。 (3)東日本大震災において、ハザードマップに記された浸水域を大きく超える範囲が浸水したことを理解し、「想定にとらわれない」を復習する。 (4)ハザードマップ以上の津波がきた場合の避難場所を考え、地図に書き込む。	各自で調べた避難場所までの地図 ハザードマップ (呼子町) 白地図
まとめ	(1)お互いの地図を見合い、情報を交流する。 (2)ハザードマップをもとに、自分の避難場所が有効かどうかを確認する。 (3)学習のまとめの感想をプリントに記入する。	ワークシート

4年(5)

1. 学習項目	地震・津波の起こり方を知ろう
2. 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ○地震や津波の起こり方を知り、日本では大きな地震や津波が発生しやすいことを理解する。 ○津波の破壊力や流れの速さなどの特徴について理解する。
3. 展開	

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	<ul style="list-style-type: none"> (1)大きな地震による被災写真を見て、地震の恐ろしさを知り、感想を発表する。 (2)学習課題を把握する。 	大きな地震による被災写真(資料)
展 開	<ul style="list-style-type: none"> (1)地震分布を示す資料を見て、地震はどのあたりで起きていたのかを考える。 (2)地震が起きる原因を知る。 (3)日本列島は大きな地震が起こりやすいことを知る。 (4)地震によって津波が起きる原因を知る。 (5)津波と普通の波との違いについての動画を見て、津波の特徴について理解する。 (6)過去の津波による被害を見て、津波の高さを確認する。また、津波が高くなる理由について理解する。 (7)人や車、建物が流されていた様子を思い出させながら、津波の流れの強さを確認する。 (8)津波の速さがどれくらいであったかを思い出させながら、津波の速さを確認する。 	地震分布とプレートの関係(資料) 日本周辺のプレート(資料) 地震・津波が起きるメカニズム 津波の動画 津波の速さと波長(写真) 津波が高くなる理由
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> (1)学習して気付いたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。 	学習まとめプリント

4年(6)

1. 学習項目	自然災害から地域を守る対策を知ろう
2. 指導目標	○津波警報や避難勧告、緊急地震速報のシステムや意義を知り、それらをどのように活用すればよいのかを理解する。

3. 展開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)地震が起きたあと、テレビやラジオでどのような情報が放送されるのかを発表しあう。 (2)学習課題を把握する。	
展 開	(1)津波警報、避難勧告、緊急地震、Jアラートがどういうものかを知る。 (2)これまでの津波警報時、避難勧告時の避難人数や割合を知る。 (3)どうして避難する人が少ないのか、その理由を考える。 (4)津波シミュレーションを見て、1分1秒が命取りになることを理解する。	
ま と め	(1)学習して気付いたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。	ワークシート

5年(1)

1. 学習項目	いろいろな避難場所を知ろう
2. 指導目標	○地震や津波の恐ろしさを知り、津波から命を守るためにには、日頃からどのようなことをしておかなければいけないのかについて関心をもつ。

3. 展 開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)東日本大震災の津波の動画を見て、津波の恐ろしさについてイメージを持つ。 (2)動画について、気付いたことを話し合う。 (3)学習課題を把握する。	東日本大震災の動画
展 開	(1)津波から命を守るためにには、知識としてどのようなことが必要かを考える。 (2)避難場所に関する知識として、標識を確認する。 (3)「津波てんでんこ」の意味を復習する。 (4)家族みんなで避難するために、日頃からしておかなければならぬことを理解する。 (5)大雨や洪水などのときには、どこに避難すればいいか確認する。	津波に関する標識の図
ま と め	(1)学習してきづいたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。	ワークシート

5年(2)

1. 学習項目	自然災害から身を守る方法を知ろう
2. 指導目標	○自然災害の恐ろしさを知り、自然災害から身を守るための正しい行動を知る。
3. 展 開	

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)動画を見て、いろいろな自然災害の恐ろしさを知り、感想を発表する。 (2)学習課題を把握する。	「NHKそなえる防災」動画 (地震、津波)
展 開	(1)いろいろな自然災害を想定し、身を守る方法を考える。 ・地震、津波、台風、水害 など (2)考えた方法を発表し合う。 (3)家にいるときに、大雨で土砂崩れが起こったときの避難場所について話し合う。 (4)自然災害時に避難する場所について確認する。	自然災害時に身を守るための正しい行動(資料)
ま と め	(1)学習して気付いたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめめる。	学習まとめプリント

5年(3)

1. 学習項目	地震から身を守る方法を知ろう
2. 指導目標	○地震の恐ろしさを知り、地震から身を守る方法を理解する。

3. 展開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)東日本大震災から、地震の恐ろしさを知り、感想を発表する。 (2)学習課題を把握する。	東日本大震災の写真・動画
展 開	(1)過去にあったような大きな地震が起こる可能性があることを確認する。 (2)大地震が起こると、どのようなことが身の回りで発生するか考える。 (3)考えたことを発表し話し合う。 (4)いろいろな場所にいるときを想定し、地震の揺れがおさまった後の避難の仕方を確認する。 (自宅、学校、デパート、体育館などホール、住宅街、海岸、車、電車やバス、エレベーター等)	地震時に身を守る正しい行動の資料
ま と め	(1)学習して気づいたことをワークシートに記入する。 (2)感想を発表し、学習をまとめる。	ワークシート

5年(4・5)

1. 学習項目	防災マップづくり
2. 指導目標	○自分たちで通学路を中心とした防災マップを作成し、その内容を全校児童や保護者、地域の方に発信し、防災について考える機会とする。

3. 展開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)通学路について調べてきたことを発表する。 (2)学習課題について理解する。	
展 開	(1)自分でしらべた自分の家から避難場所までの地図を参考にしながら危険箇所の確認をする。 (2)自分の調べた内容や、「ハザードマップ」を参考にして、地区ごとの避難場所を整理し白地図に書き込んでいく。 (シールや付箋を貼ったり、書き込んだりする) (3)東日本大震災において、ハザードマップに記された浸水域を大きく超える範囲が浸水したことを理解し、「想定にとらわれない」を復習する。 (4)ハザードマップ以上の津波がきた場合の避難場所を考え、地図に書き込む。 (5)防災マップを見て、気づいたことを話し合う。	校区の地図
ま と め	(1)気づいたことをワークシートに記入する。 (2)感想を発表し、学習のまとめをする。	ワークシート

5年(6)

1. 学習項目	自然災害の様々な特徴を知ろう
2. 指導目標	○自然災害について、どのような特徴があるのか理解する。

3. 展開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)自分が見たり、聞いたりした自然災害について発表する。 (2)学習課題を把握する。	
展 開	(1)自然現象と自然災害の違いを理解する。 (2)いろいろな自然災害について、おおまかな特徴を理解する。 (特に身近に起こる可能性がある津波、高潮、土砂崩れ、竜巻、豪雨などは詳しく説明する)	自然災害資料 「NHKそなえる防災コラム」
ま と め	(1)気づいたことをワークシートに記入する。 (2)感想を発表し合い、学習をまとめること	ワークシート

6年(1)

1. 学習項目	いろいろな避難場所を知ろう
2. 指導目標	○地震や津波の恐ろしさを知り、津波から命を守るためにには、日頃からどのようなことをしておかなければいけないのかについて関心をもつ。

3. 展開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)東日本大震災の津波の動画を見て、津波の恐ろしさについてイメージを持つ。 (2)動画について、気付いたことを話し合う。 (3)学習課題を把握する。	DVD 「NHKそなえる防災」:動画
展 開	(1)津波から命を守るためにには、知識としてどのようなことが必要かを考え。 ・個人→ペア→グループによる話し合い (2)避難場所に関する知識として、標識を確認する。 (3)「津波てんでんこ」の意味を復習する。 (4)家族みんなで避難するために、日頃からしておかなければならぬことを理解する。 (5)大雨や洪水などのときには、どこに避難すればいいか確認する。	
ま と め	(1)学習してきづいたことをプリント等に記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめること。	ワークシート

6年(2)

1. 学習項目	自然災害から身を守る方法を知ろう
2. 指導目標	○自然災害の恐ろしさを知り、自然災害から身を守るための正しい行動を知る。
3. 展開	

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)東日本大震災の写真を見せ、このような津波が近い将来発生する可能性が高いことを紹介する。 (2)学習課題を理解する。	東日本大震災の写真
展 開	(1)いろいろな場所にいるときを想定し、地震が起きたときやゆれがおさまった後の行動を確認する。 ・家にいるとき ・家の近くで遊んでいるとき ・他の地区でかけているとき など ・ペア学習を行う。 (2)実際に行動してみる。 (3)行動したあとの感想を何人かに聞く。 (4)家にいるときに、大雨で土砂崩れが起こったときの避難場所について話し合う。 (5)自然災害時に避難する場所について確認する。	ハザードマップワークシート
ま と め	(1)学習の感想をワークシートに記入する。 (2)感想等を発表し、今日の学習をまとめる。	ワークシート

6年(3)

1. 学習項目	津波から逃げる方法を知ろう
2. 指導目標	○津波の恐ろしさを知り、津波から逃げる方法を理解する。 ○津波避難3原則の意味を知り、津波から避難することの難しさを理解する。

3. 展開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)津波の恐ろしさを知り、感想を発表する。 (2)学習課題を把握する。	DVD津波動画
展 開	(1)過去にあったような大きな津波が起こる可能性があることを確認する。 (2)ハザードマップを見て、想定津波の浸水範囲を復習する。 (3)想定を超える津波が来ることを理解する。 (4)「想定にとらわれるな」を理解する。 (5)「最善をつくせ」を理解する。 (6)「率先避難者たれ」を理解する。 (7)いろいろな場所にいるときを想定し、地震の揺れがおさまった後の避難の仕方を確認する。 (自宅、学校、デパート、体育館などホール、住宅街、海岸、車) ・ペア学習を行う。	ハザードマップ 侵水域の地図
ま と め	(1)学習して気づいたことをワークシートに記入する。 (2)感想を発表し、学習をまとめると。	ワークシート

6年(4・5)

1. 学習項目	防災マップづくり
2. 指導目標	○自分たちで通学路を中心とした防災マップを作成し、その内容を全校児童や保護者、地域の方に発信し、防災について考える機会とする。

3. 展開

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	(1)通学路について調べてきたことを発表する。 (2)学習課題について理解する。	
展 開	(1)自分でしらべた自分の家から避難場所までの地図を参考にしながら危険箇所の確認をする。 (2)自分の調べた内容や、「ハザードマップ」を参考にして、地区ごとの避難場所を整理し白地図に書き込んでいく。 (シールや付箋を貼ったり、書き込んだりする) (3)東日本大震災において、ハザードマップに記された浸水域を大きく超える範囲が浸水したことを理解し、「想定にとらわれない」を復習する。 (4)ハザードマップ以上の津波がきた場合の避難場所を考え、地図に書き込む。 (5)防災マップを見て、気づいたことを話し合う。	校区の地図
ま と め	(1)気づいたことをワークシートに記入する。 (2)感想を発表し、学習のまとめをする。	ワークシート

6年(6)

1. 学習項目	自然災害の様々な特徴を知ろう
2. 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害について、どのような特徴があるのか理解する。 ○自然災害のときの避難の仕方を理解する。
3. 展開	

過 程	主 な 学 習 活 動	備 考
導 入	<ul style="list-style-type: none"> (1)自分が見たり、聞いたりした自然災害について発表する。 (2)学習課題を把握する。 	アニメーション画像 (土石流、崖崩れ、地滑り)
展 開	<ul style="list-style-type: none"> (1)自然現象と自然災害の違いを理解する。 (2)いろいろな自然災害について、おおまかな特徴を理解する。 (特に身近に起こる可能性がある津波、高潮、土砂崩れ、竜巻、豪雨などは詳しく説明する) (3)鷹島や自分の地区で起きたことを想定して、避難のしかたや動き方を考え、確認する。 	自然災害資料
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> (1)気づいたことをワークシートに記入する。 (2)感想を発表し合い、学習をまとめること。 	ワークシート

1年防災教育年間指導計画

目標	だいすき わたしたちの たかしま			
	・友だちや身近な人々への関心を高め、学校や校区にある安全な施設について理解する。 ・友だちや身近な人と仲良く行動できる態度を育てる。			
月	防災教育関連行事等	教科	道徳	特別活動
4	地区児童会 避難訓練【火災】			避難訓練事前事後指導
5		生 がっこう だいすき がっこうをたんけんしよう こうていもたんけんしよう (学校内のいろいろな場所に いるときに災害が発生したら どうするのかを知る)		(1)ひなんのたいせつさをしろう (避難場所の確認) 学級活動(2)-力
6	防災アンケート(1) 水泳安全指導		あさがおのかんさつ 3-(1)	(2)しせんさいがいについてし ろう 学級活動(2)-力
7	防災教育講演会・教職員 研修会 避難訓練【地震・津波】 教職員先進的実践校視 察	国 おおきなかぶ (力を合わせて取り組むこと の大切さを知る)	はしのうえのおおかみ 2-(2) がっこうのようむしゅじさん 2-(4)	防災教育事後指導 避難訓練事前事後指導 夏休みの生活について
8	被災地ボランティア活動 視察及び活動 教職員研修【防災教育】			
9	避難訓練【原子力災害】		みちあんない 2-(2)	正しい避難の仕方 避難訓練事前事後指導
10		国 はたらくじどう車 (災害時に活躍する自動車に ついて知る)	からすとはと 3-(1)	
11	公開避難訓練【地震・津 波】 被災地ボランティア活動 報告会 防災教育授業公開		ジオジオのかんむり 2-(2)	避難訓練事前事後指導 (3)つなみのおそろしさをしろう 学級活動(2)-力
12				冬休みの生活について
1	防災アンケート(2) 緊急避難訓練【火災】		まちのおまつり 4-(5)	避難訓練事後指導 (4)防災マップをつくろう 学級活動(2)-力
2				
3			あひるのがあこ 3-(1)	春休みの生活について

2年防災教育年間指導計画

目標	だいすき わたしたちの たかしま			
	・友だちや身近な人々への関心を高め、学校や校区にある安全な施設について理解する。 ・友だちや身近な人と仲良く行動できる態度を育てる。			
月	防災教育関連行事等	教科	道徳	特別活動
4	地区児童会 避難訓練【火災】		ないたたぬき 2-(3)	避難訓練事前事後指導
5	生 どきどきわくわくまちたんけん わたしたちのまちをたんけんしよう (避難場所や避難標識などをさがす)	ぜんこうしゃせいかい 2-(4)	(1)ひなんの大切さを知ろう (避難場所の確認) 学級活動(2)-力	
6	防災アンケート(1) 水泳安全指導	国 たんけんしたことほうこくしよう (まち探検でわかった防災にかかわることについてまとめる)	いただきます 3-(1)	(2)自ぜん災害について知ろう 学級活動(2)-力
7	防災教育講演会・教職員研修会 避難訓練【地震・津波】 教職員先進的実践校視察		ぐみの木とことり 2-(2)	防災教育事後指導 避難訓練事前事後指導 夏休みの生活について
8	被災地ボランティア活動 視察及び活動 教職員研修【防災教育】			
9	避難訓練【原子力災害】			正しい避難の仕方 避難訓練事前事後指導
10	生 わたしのまち大すき もっとまちの人となかよくなろう (地域の人に、今まで地震や大雨のときに危険だった場所をたずねる)	ともだちっていいな 2-(3)		
11	公開避難訓練【地震・津波】 被災地ボランティア活動 報告会 防災教育授業公開		きつねとぶどう 2-(4) おじいさんのうしろすがた 2-(2) おおきくなあれどんぐりくん 3-(1)	避難訓練事前事後指導 (3)津波の速さと流れの強さを知ろう 学級活動(2)-力
12			町の大いちょうの木 4-(5)	冬休みの生活について
1	防災アンケート(2) 緊急避難訓練【火災】			避難訓練事後指導 (4)防災マップを作ろう 学級活動(2)-力
2			ぐるぐるまわれ 2-(2) ミノムシ 3-(1)	
3				春休みの生活について

3年防災教育年間指導計画

月 目 標	調べよう わたしたちの松浦市				
	松浦市(鷹島町)の土地や気候、自分たちの暮らしを守ってくれる人や施設について理解する。 命の大切さについて考え、自分たちを支えてくれる人々に感謝する心を育む。				
月	防災教育関連行事等	教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
4	地区児童会 避難訓練【火災】	社 もっと知りたいみんなのまち 1 わたしたちのまちはどんなまち(避難場所や避難経路などの確認)		避難訓練事前事後指導	
5			だいこんあらい 2-(2)		わくわく鷹島のいいとこさがし (1)いろいろな避難場所を知ろう (2)自然災害から身を守る方法を知ろう
6	防災アンケート(1) 水泳安全指導	社 もっと知りたいみんなのまち 2 わたしたちの市の様子 (海と山にかこまれた松浦市、おいしい魚はたくさんとれるけれど、地震・津波が来たらどうなるかについて知る)	拾ったりんご 2-(2)		わくわく鷹島のいいとこさがし (3)地震・津波のおこり方を知ろう
7	防災教育講演会・教職員研修会 避難訓練【地震・津波】 教職員先進的実践校視察	国 調べたことをほうこくしよう(自然災害について調べる)	子リスと母ネコ 3-(1)	防災教育事後指導 避難訓練事前事後指導 夏休みの生活について	
8	被災地ボランティア活動 視察及び活動 教職員研修【防災教育】				
9	避難訓練【原子力災害】			正しい避難の仕方 避難訓練事前事後指導	わくわく鷹島のいいとこさがし (4)防災マップづくり
10			ハンカチのぬくもり 2-(2)		わくわく鷹島のいいとこさがし (5)防災マップづくり
11	公開避難訓練【地震・津波】 被災地ボランティア活動報告会 防災教育授業公開		おばあさんときれいな歩道 2-(4)	避難訓練事前事後指導	わくわく鷹島のいいとこさがし (6)自然災害から地域を守る対策を知ろう
12			お母さんなかなかいで 3-(1)	冬休みの生活について	
1	防災アンケート(2) 緊急避難訓練【火災】	社 さぐってみよう 昔の暮らし 1 昔の暮らし(過去の松浦市の自然災害による被災状況について知る)	おじいさんの顔 2-(2)	避難訓練事後指導	
2			祭りだいこ 4-(5) 猿橋 2-(4)		
3			わたしはお姉ちゃん 3-(1)	春休みの生活について	

4年防災教育年間指導計画

月 標	調べよう わたしたちの松浦市				
	松浦市(鷹島町)の土地や気候、自分たちの暮らしを守ってくれる人や施設について理解する。 命の大切さについて考え、自分たちを支えてくれる人々に感謝する心を育む。				
月	防災教育関連行事等	教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
4	地区児童会 避難訓練【火災】	社 安全なくらしとまちづくり 1 事故・事件のないまちをめざして 理 天気と気温 (雨の降るしきみや大雨による被害について知る)		避難訓練事前事後指導	心の地図をひろげよう (1)いろいろな避難場所を知ろう
5		社 安全なくらしとまちづくり 2 火事を防ぎ、地震にそなえる	フィンガーボール 2-(2)		心の地図をひろげよう (2)自然災害から身を守る方法を知ろう
6	防災アンケート(1) 水泳安全指導		ヒキガエルとロバ 3-(1)		心の地図をひろげよう (3・4)防災マップづくり
7	防災教育講演会・教職員研修会 避難訓練【地震・津波】 教員先進的実践校視察 地区児童会、地区懇談会		すもうの先生 2-(4)	防災教育事後指導 避難訓練事前事後指導 夏休みの生活について	
8	被災地ボランティア活動 視察及び活動 教職員研修【防災教育】				
9	避難訓練【原子力災害】		精霊流し 3-(1)	正しい避難の仕方 避難訓練事前事後指導	
10		社 昔から今へ続くまちづくり			心の地図をひろげよう (5)地震・津波の起こり方を知ろう
11	公開避難訓練【地震・津波】 被災地ボランティア活動 報告会 防災教育授業公開	社 わたしたちの県のまちづくり	徳べえざくら 4-(5)	避難訓練事前事後指導	心の地図をひろげよう (6)自然災害から地域を守る対策を知ろう
12		社 わたしたちの県のまちづくり 1 県の地図を広げて	道は生きている 2-(4)	冬休みの生活について	
1	防災アンケート(2) 緊急避難訓練【火災】		だがし屋のおばちゃん 2-(2)	避難訓練事後指導	
2			人間愛の金メダル 3-(1)		
3				春休みの生活について	

5年防災教育年間指導計画

目標	災害に強いわたしたちになろう				
	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が起こる原因について理解する。 ・災害が起きたときに自分たちでできることを考え、実行しようとする意欲と態度を育てる。 				
月	防災教育関連行事等	教 科	道 德	特 別 活 動	総合的な学習の時間
4	地区児童会 避難訓練【火災】	理 天気の変化 (気象情報の集め方や弓取り方について知る)	父の言葉 2-(2)	避難訓練事前事後指導	めさせ、災害に負けない鷹島 (1)いろいろな避難場所を知ろう
5		体 けがの防止 (地震が起きたら、どんなのがをする可能性があるのか、またそれを防ぐためにはどうしたらいいのかを考える)	ぼくのふるさと 4-(7)		めさせ、災害に負けない鷹島 (2)自然災害から身を守る方法を知ろう
6	防災アンケート(1) 水泳安全指導	国 新聞を作ろう (自然災害を題材に情報を集め、新聞を作る)			めさせ、災害に負けない鷹島 (3)地震から身を守る方法
7	防災教育講演会・教職員研修会 避難訓練【地震・津波】 教職員先進的実践校視察	家 かたづけよう (活動例として、地震から身を守るために工夫を考える)	とらねことじいちゃん 3-(1) ボランティアクラブに入って 4-(3)	防災教育事後指導 避難訓練事前事後指導 夏休みの生活について	
8	被災地ボランティア活動 視察及び活動 教職員研修【防災教育】				
9	避難訓練【原子力災害】			正しい避難の仕方 避難訓練事前事後指導	めさせ、災害に負けない鷹島 (4)防災マップづくり
10		理 台風と天気の変化 (台風による風水害等からまちを守る施設について知る)	命ってすごい 3-(1) タンポポ文庫ができるよ 2-(5)		めさせ、災害に負けない鷹島 (5)防災マップづくり
11	公開避難訓練【地震・津波】 被災地ボランティア活動 報告会 防災教育授業公開	理 流れる水のはたらき(土石流のおこり方にについて教える)	稻むらの火で命を救え 3-(1)	避難訓練事前事後指導	めさせ、災害に負けない鷹島 (6)自然災害の様々な特徴を知ろう
12		社 くらしを支える情報 1 情報のなかに生きる (緊急地震速報や津波警報、防災無線等の役割について知る)	くずれ落ちたダンボール箱 2-(2)	冬休みの生活について	
1	防災アンケート(2) 緊急避難訓練【火災】			避難訓練事後指導	
2		国 コラムを書こう			
3				春休みの生活について	

6年防災教育年間指導計画

目標	災害に強いわたしたちになろう				
	防災教育関連行事等	教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
4	地区児童会 避難訓練【火災】		雨 2-(2)	避難訓練事前事後指導	災害に強いわたしたち (1)いろいろな避難場所を知ろう
5		理 (実験中に地震が発生した場合に起こりうる事故とその予防や対応の仕方について知る)	手のひらのカギ 3-(1)		災害に強いわたしたち (2)自然災害から身を守る方法を知ろう
6	防災アンケート(1) 水泳安全指導				災害に強いわたしたち (3)津波から逃げる方法を知ろう
7	防災教育講演会・教職員研修会 避難訓練【地震・津波】 教職員先進的実践校視察		児童館祭り 4-(3)	防災教育事後指導 避難訓練事前事後指導 夏休みの生活について	
8	被災地ボランティア活動 視察及び活動 教職員研修【防災教育】				
9	避難訓練【原子力災害】	国 パネルディスカッションをしよう(題材を自然災害にして話し合う)	海と山の国 4-(7) 「いのち」の重さ 3-(1)	正しい避難の仕方 避難訓練事前事後指導	災害に強いわたしたち (4)防災マップづくり
10		理 大地のつくりと変化(流水のはたらき、火山のはたらき、地震の仕組みやその被害の様子について知る)	海の勇者 4-(3) タクシー乗り場で 2-(2)		災害に強いわたしたち (5)防災マップづくり
11	公開避難訓練【地震・津波】 被災地ボランティア活動報告会 防災教育授業公開			避難訓練事前事後指導	災害に強いわたしたち (6)自然災害の様々な特徴を知ろう
12		社 暮らしの中の政治 1身近な暮らしと政治(災害時の政治のはたらきとして、被災者支援や地域の防災まちづくり活動等があることを知る)	祖母のつえ 3-(1)	冬休みの生活について	
1	防災アンケート(2) 緊急避難訓練【火災】	家 くふうして生活に生きよう 6 考えようこれから的生活(地域の一員として、これから地域の方とどのようにかかわっていくかを考える)	藤井駅のホームでのできごと 2-(2)	避難訓練事後指導	
2			最後のひと葉 2-(2)		
3			地震で学んだこと 2-(5)	春休みの生活について	

第1学年 防災教育カリキュラム

月	防災教育関連行事等	教 科	指導内容	道徳 1年 暁図書	総合的な学習の時間	特別活動
4	年間指導計画・避難経路図・防災マニュアル見直し 校区・通学路の安全確認 避難訓練（地震・火災） 安全点検					学活（1時間）（2）一 キ 校内探検を通して、避難経路の確認・消火器の場所確認、火を使う教室の確認をさせる。 行事（1時間） 歓迎遠足を通して、炊さん活動で炊き出し訓練の練習を行う。また、現地に向かう経路の中で、遊泳禁止場所や危険箇所を確認させる。 地区生徒会（1時間） 避難場所や危険箇所の確認、通学路マップ・地区連絡網の作成
5	安全点検	美術（家の宿題） 社会を明るくする運動課題ポスター	鷹島町で行われ募集される「社会を明るくする運動ポスター」の制作において、防犯・防災・郷土・人権などのテーマで取り組ませる。興味のある分野から課題を選ぶことで、意欲的に取り組ませる。			
6	安全点検 生徒防災意識調査	美術（1時間） 文字や形で伝えるマークのデザインを考えよう	消火器やバケツ、防犯グッズなど、防災用具のマークや保管場所を表すマップなどを考えさせることにより、校舎内の防災マークや防災用具の設置場所に关心を持たせる。	17島耕作 ある朝の出来事 公徳心・社会連帯 4-（2）	地震・津波・原子力災害を知る (詳細は、別紙)	学活(1時間)（2）一 キ 防災意識調査をして、津波の映像を見せ、避難することの大切さを理解させる。
7	学校防災教育研修会 心肺蘇生法・AED講習 地区PTCA（危険箇所確認・遊泳場所確認他） 避難訓練（津波・地震） 安全点検	社会【歴史】（1時間） 第2章 原始・古代の日本と世界 4 貴族社会の発展	蝦夷の学習を通し、多賀城や胆沢城の位置を地図資料で確認しつつ、東日本大震災の影響をうけた地域の1つであることにふれる。			
8	安全点検	美術（家の宿題） 夏休み選択課題ポスター	自分で防災ポスターの種類を選択し（土砂災害防止など）、制作に取り組むことで、調べ学習において防災の知識や状況を把握させるなど、興味関心を持たせる。			

9	安全点検 避難訓練(原子 力災害)			1 3 バスと赤ち ゃん 公徳心・社会連帶 4-(2)		
10	安全点検	国語(1時間) 【書く】<伝達> 図表を使って伝え よう	地震、津波、火災、原子力災害な どの恐ろしさについて調べたことを 工夫してわかりやすく説明すること で、防災の必要性を実感させる。		1年防災環 境学習 (詳細は別 紙)	
		数学(1時間) 第4章 比例と反比 例	過去のデータから、震源地を探す。			
		社会【地理】(1時間) 第3章 世界の諸 地域 3 統合を強める ヨーロッパの国々 4 世界に大きな 影響力をもつアメ リカ	原子力発電と環境問題の資料に目 を通すなかで、原子力発電所に近い 位置にある鷹島(松浦)の利点や課 題について意見を出し合う。 自然災害と人種差別の資料から日 本ではそのような問題を抱えていな いかを考察させる。			
11	安全点検 避難訓練(地 震・津波) 防災ボランテ ィア報告会			2 7 語りかける 目 家族の大切さ 4-(6)	防災訓練 (2時間) (炊き出し・応急措 置・土嚢作り など)別紙計 画表参照	学活(1時間)(2)- ウ・カ ボランティア活動 について ボランティア活動 の意義の理解と参加
12	安全点検					学活(1時間)(2)- カ 「実際に自分たち にできることを実 践する」 地区生徒会(1時間) 危険箇所確認・通学 路マップ・地区連絡 網・遊泳禁止区域・避 難場所を確認させる。
1	安全点検 生徒防災意識 調査	理科(1時間) 1年 単元4 1 章 火山	火山活動のようすを理解する と共に、過去に起こった火山噴火 災害について学習し、迅速な避難 の重要性を理解させる。	2 4 娘のふるさ と 郷土愛 4-(8)		学活(防災意識調査) (2)-キ
2	避難訓練(地 震・津波) 安全点検	理科(1時間) 1年 単元4 2 章 地震 保健体育(1時間) 1年 心身の機能の 発達と心の健康 10 ストレスへの対 処と心の健康	過去に起こった地震災害、ま た、地震に伴って生じる津波や液 状化現象などについて学習し、迅 速な避難の重要性を理解させる。 精神と身体は、相互に影響を与 え、かかわっていること、欲求や ストレスは、心身に影響を与える ことがあること、また、心の健康 を保つには、欲求やストレスに適 切に対処する必要があることを			

			理解させる。			
		社会【地理】(1時間) 第4章 世界のさまざまな地域の調査	個人の健康は、健康を保持増進するための社会の取組と密接なかかわりがあることを理解させる。			
3	安全点検	理科 (1時間) 1年 単元4 4 章 大地の変動	鷹島（松浦）や日本国内の災害などを調べてまとめ、環境問題についての理解を深めさせる。 調べ学習を通し、鷹島（松浦）や日本の社会問題を知ろうとするきっかけをつくる。	地震が発生するしくみや日本周辺の地震帯について学習し、地震災害を身近な問題として重要視する姿勢を身につけさせる。		

第2学年 防災教育カリキュラム

月	防災教育関連行事等	教科	指導内容	道徳	総合的な学習の時間	特別活動
4	年間指導計画・避難経路図・防災マニュアル見直し 校区・通学路の安全確認 避難訓練（地震・火災） 安全点検	美術(1時間) 生活の中に生きる 美術 社会【歴史】 第4章 近世の日本と世界 4 経済の成長と幕政の改革	教科書本文を読み、生活の中にある美術的に彩られたり、よりわかりやすく工夫されたさまざまな道具やマークを見たり探したりさせる。 例：非常口・防災マーク・防災案内表示板 「郷土の歴史を探る」のテーマのもと、鷹島（松浦）の歴史を調べるなかで、周辺地域との関わりや将来性について考えるきっかけをつくる。			行事（1時間） 歓迎遠足を通して、炊さん活動で炊き出し訓練の練習を行う。また、現地に向かう経路の中で、遊泳禁止場所や危険箇所を確認させる。 地区生徒会（1時間） 避難場所や危険箇所の確認、通学路マップ・地区連絡網の作成
5	安全点検	美術（家の宿題） 社会を明るくする運動課題ポスター	鷹島町で行われ募集される「社会を明るくする運動ポスター」の制作において、防犯・防災・郷土・人権などのテーマで取り組ませる。興味のある分野から課題を選ぶことで、意欲的に取り組ませる。			
6	安全点検 生徒防災意識調査	美術（1時間） わかりやすく伝えられるデザイン ピクトグラムを使ったデザイン	緊急性の高い情報は、一目で情報が伝わるよう工夫されていることに気づかせ、見る人にわかりやすく伝わるデザインを考えさせる。教科書の「いろいろなピクトグラム」を見て、防災マークに興味を持たせたり、新たな防災マークを考えさせること。	【21】明かりの下の燭台 集団生活の向上 4-(1)	地震・津波・原子力災害を知る (詳細は、別紙)	学活(1時間) (2)-キ 防災意識調査をし、津波の映像を見せ、避難することの大切を理解させる。

7	学校防災教育研修会 心肺蘇生法・AED講習 地区P T C A (危険箇所確認・遊泳場所確認他) 避難訓練（津波・地震） 安全点検					
8	安全点検	美術(家の宿題) 夏休み選択課題ポスター	自分で防災ポスターの種類を選択し（土砂災害防止など）、制作に取り組むことで、調べ学習において防災の知識や状況を把握させるなど、興味関心を持たせる。			
9	安全点検 避難訓練(原子力災害)	社会【地理】(1時間) 第3章 日本の諸地域 1 九州地方～環境問題と環境保全を中心とした考察 家庭科（1時間） 住生活と自立 安全に住むためにはどうしたらよいだろう。	鷹島（松浦）や九州の地理的位置の把握とともに、環境問題や環境保全、自然災害や防災についての学習を深めさせる。また、ハザードマップで災害に対する情報を入手したり、安全確保の確認を行い、今後の生き方に役立てる。 家庭内事故とその原因について知らせ、安全に住むための改善方法を考えさせる。震災対策の具体例から、安全管理の方法を理解させる。	【25】加山さんの願い 社会への奉仕 4-(5)		
10	安全点検					
11	安全点検 避難訓練（地震・津波） 防災ボランティア報告会	保健体育（4時間） 2年 障害の防止 1 傷害の発生要因 5 自然災害の一次災害と二次災害 6 自然災害による傷害の防止 7 応急手当の意義と方法	交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などがかかわって発生することを理解させる。 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によつても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを理解させる。 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができる。また、応急手当	【18】赤い音 家族愛 4-(6)	防災訓練（2時間） (炊き出し・応急措置・土壌作りなど)別紙計画表参照	学活（1時間）(2)-キ 「自分の命は自分で守ろう」 津波のメカニズムを知り、巨大なエネルギーについて認識しよう。 学活（1時間）(2)-キ 「自分の命は自分で守ろう！」 津波について知り、自ら動く方法を見つけよう。

			には、心肺蘇生等があることを理解させる。		
12	安全点検		自作資料：津波被害を受けた中学生の作文 生命尊重 3－(1)		学活（1時間）（2） ーウ、キ 「自分の命は自分で守ろう」 災害後の暮らしと備えについて知ろう。 地区生徒会（1時間） 危険箇所確認・地区的安全マップ作成・地区連絡網・遊泳禁止区域・避難場所を確認させる。
1	安全点検 生徒防災意識調査				学活（防災意識調査） (2) ーキ
2	避難訓練 (火災) 安全点検	理科（1時間） 2年 単元4 4 章 日本の気象 社会【地理】(1時間) 第3章 日本の諸地域 6 東北地方～生活・文化を中心とした考察	台風発生のしくみや過去の台風による災害を学習し、適切な対応ができるようにする。 鷹島（松浦）や九州地方との共通点や地域の特殊性を考察させる。また、東日本大震災の前後で生活が大きく変化したことにもふれ、何かできることはないか、考えさせる。	【12】アップルロード作戦 郷土愛 4－(8)	
3	安全点検	社会【地理】(1時間) 第4章 身近な地域の調査	鷹島（松浦）と地震・津波・原子力災害との関係などをテーマとして、地域の調査を計画し、まとめさせる。		

第3学年 防災教育カリキュラム

月	防災教育関連行事等	教科	指導内容	道徳	総合的な学習の時間	特別活動
4	年間指導計画・避難経路図・防災マニュアル見直し 校区・通学路の安全確認 避難訓練（地震・火災） 安全点検	美術（1時間） 社会に広がる美術	美術の力で何かを表すことによって、社会に対する問題提起になったり、それを解決するヒントを伝えたりできることに気づかせる。本文キーワード：地球環境・限りある資源・かけがえのない命	「郷愁」（心つないで） 郷土愛 4-(8)		行事（1時間） 歓迎遠足を通して、炊さん活動で炊き出し訓練の練習を行う。また、現地に向かう経路の中で、遊泳禁止場所や危険箇所を確認させる。 地区生徒会（1時間） 避難場所や危険箇所の確認、通学路マップ・地区連絡網の作成
5	安全点検	美術（家の宿題） 社会を明るくする運動 課題ポスター	鷹島町で行われ募集される「社会を明るくする運動ポスター」の制作において、防犯・防災・郷土・人権などのテーマを取り組ませる。興味のある分野から課題を選ぶことで、意欲的に取り組ませる。			
		社会【歴史】（1時間） 第7章 二度の世界大戦と日本 2 大正デモクラシー	関東大震災の資料とともに、東日本大震災の資料を準備し、災害が発生した際に起こり得る社会問題について推察させる。			
6	安全点検 生徒防災意識調査	社会【歴史】（1時間） 第8章 現代の日本と世界 3 冷戦の終結とこれから日本の日本	これからを生きる不安定な時代をいかに協力し、どのような支え合いができるのかを考察させ、各自の意見をまとめさせる。	地震・津波・原子力災害を知る (詳細は、別紙)	学活(1時間) (2) -キ 防災意識調査をし、津波の映像を見せ、避難することの大切さを理解させる。	
7	学校防災教育研修会 心肺蘇生法・AED講習 地区PTCA（危険箇所確認・遊泳場所確認他） 避難訓練（津波・地震） 安全点検			「命を輝かせるために」(ではまた明日) 生命尊重 3-(1)		
8	安全点検	美術（家の宿題） 夏休み選択課題 ポスター	自分で防災ポスターの種類を選択し（土砂災害防止など）、制作に取り組むことで、調べ学習において防災の知識や状況を把握させるなど、興味関心を持たせる。			

9	安全点検 避難訓練（原子力災害）	社会【公民】(1時間) 第1章　わたしたちの暮らしと現代社会 3　わたしたちがつくる社会 英語（1時間） ネットからの引用	「ルールをつくること」の学習で、ルールのもつ意味を理解させ、「自分のため」「他者のため」などのいくつかの視点をもたせ、ルール作りを体験させる。 東日本大震災が起こったときの、英語でのニュースを日本語に訳したり、聞き取りをしたりすることで、外国ではこのニュースがどのように報道されていたのかを知らせる。		
10	安全点検	社会【公民】(1時間) 第2章　人間を尊重する日本国憲法 2　憲法が保障する基本的人権	人権の種類について学習し、その人権のもつ意味を理解するなかで社会を見る目を育てる。 「法の下の平等」という視点から、現状の日本の課題や解決策を探る。	「愛は命を支える柱になる」 生命尊重 3-(1)	
11	安全点検 避難訓練（地震・津波） 防災ボランティア報告会	社会【公民】(2時間) 第3章　わたしたちの暮らしと民主政治 1　民主主義と日本の政治 3　地方自治と住民の参加 数学（1時間） 第5章　相似な図形	災害時の政治のはたらきとして、被災者支援なども含まれることを知り、過去の震災の被害や復興までの道のりを調べ、まとめさせる。 鷹島（松浦）の防災まちづくり活動を調べ、自分たちができる防災への取組を考え、まとめさせる。 防災行政無線やメディアの果たすべき役割を知り、いかに正しい情報を入手する必要性があるかについて考えさせ、課題を出し合わせる。 津波の映像から、津波の高さを測定させる。	防災訓練(2時間) (炊き出し・応急措置・土壠作りなど)別紙計画表参考	学活（1時間）(2)一キ 世界の自然災害 学活（1時間）(2)一カ ボランティア活動について、世界に目を向けよう。
12	安全点検				地区生徒会（1時間） 危険箇所確認・地区的安全マップ作成・地区連絡網・遊泳禁止区域・避難場所を確認させる。

1	安全点検 生徒防災意識調査	美術 (1時間) 生きるためのデザイン 転がる水	写真のポリタンクとQドラムを見比べ、生きるために必要なデザインの在り方を感じさせる。 美術で学ぶ力によって、同じ地球で生きる人々の為にどんなことができるかを考えさせる。 (災害後の不便な状態にある各地域での生活に思いをはせ、そんな中でも、より便利で快適な生活がおくれる工夫を考える)		学活 (防災意識調査) (2) -キ
		社会【公民】(3時間) 第4章 安心して暮らせる社会 1 労働と社会保障 2 これからの日本 経済の課題 第5章 国際社会に生きるわたしたち 1 国際社会が抱える課題	労働や社会保障、協働の現状を知るなかで、「いろいろな人々が支え合って成り立つ社会にしていくにはどういうことが大切で何が必要か」などの課題を話し合う。 意見を出し合うなかで、他者の意見を認め、自分の意見と組み合わせるなど、より良い意見を考えさせる。 鷹島（松浦）で行われている「協働」の取組を調べさせる。		
2	避難訓練 (火災) 安全点検	社会【公民】(1時間) 第5章 国際社会に生きるわたしたち 3 持続可能な社会の実現へ に向けて 理科 (1時間) 単元6 1章 自然の灾害とめぐみ 体育《1時間》 健康な生活と病気の予防 17 個人の健康を守る社会の取組	地域や国内、世界に向けて支援や貢献できることはないかを考え、発表させる。 持続可能な未来を築くという視点から話し合わせる。 自然がもたらす災害について幅広く、そのしくみや影響を学習し、適切な対応ができる るようにする。	「家族愛」 (とっておきの道徳授業) 家族愛 4-(6)	
3	安全点検				

総合的な学習の時間

全学年 6月実施
学習項目 地震・津波・原子力災害を知る
指導目標 ・東日本大震災やインド洋地震津波などの地震・津波の資料を用い、その恐ろしさや被害の状況を知らせ、防災の必要性を理解させる。
指導時間 1時間
展開

過程	主な学習活動	備考
導入	○地震や津波の映像や写真を見て、自然災害の脅威を知る。	地震・津波の映像や写真
展開	○東日本大震災の被害状況や体験談などを聞き、私たちの身近に起こり得る災害であることに気づく。 ○地震・津波・原子力災害についてのクイズに答え、知識を深める。 ○もし、自分が住んでいる地域に地震・津波・原子力災害の被害が起きたら、どのように行動するかシミュレーションしてみる。 ○正しい避難の方法を確認する。	被害状況や体験談の資料 クイズの問題 ワークシート
まとめ	○学習して気づいたことをワークシートに記入する。 ○感想等を発表し、本時のまとめをする。	ワークシート

総合的な学習の時間

全学年 11月実施

学習項目 防災訓練

指導目標

- ・ 炊き出しや応急措置の方法を体験することで、相互支援の意識や、防災意識を高める。
- ・ 自ら命を守る主体性を身につけさせる。

指導時間 2時間

展開

過程	主な学習活動	備考
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○被災地の避難所では、救援物資によって食事を賄わなければならないことを知り、炊き出しの必要性を理解する。 ○怪我をした人には、簡単にできる応急措置を施すことの大切さを理解する。 ○本時の学習目標を把握する。 	炊き出しの写真 赤十字の方の協力を得る。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○赤十字の方から応急措置の仕方を指導してもらう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 三角巾を使った固定の方法 ・ 簡易担架のつくり方 ○土嚢づくりの体験（松浦市消防本部鷹島出張所の協力） ○1～2年生は、DVDなどの映像を見る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 長崎県で起こった水害などの状況を説明する。 ○3年生は、炊き出し訓練を行う。 	※カレーソーメンを作る。 ※釜から作成させる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○炊き出しの感想や気づきをワークシートに記入する。 ○ワークシートに、今後、避難した後、自分たちでもできる支援の方法について考えさせる。 	

総合的な学習の時間

第1学年	10月実施
学習項目	防災環境授業
指導目標	<ul style="list-style-type: none">鷹島がおかれた自然環境などを知り、どのような災害が起こりやすいか理解させる。通学路の危険箇所を把握し、危機意識を持たせる。自助・共助・公助について学び、防災意識の高揚を図る。
指導時間	6時間
展開	
1校時	<ul style="list-style-type: none">○防災クイズ 災害発生時の対応についてのクイズを実施する。○鷹島町の環境について 鷹島の地質・地滑り地の分布等について説明する。○自然災害について 地滑り、崩壊、土石流等の自然災害について説明する。 H22年7月に殿ノ浦で起きた道路斜面災害について説明する。 地球温暖化の影響について説明する。
2校時	<ul style="list-style-type: none">○地震災害について 東日本大震災の状況について説明する。○九州北部の地震の可能性について 鷹島町でもM6以上の地震のリスクがあることを説明する。○身の回りの危険箇所について 暴雨や地震時に危険な危険箇所を説明する。(5時間目の着目点)
3校時	<ul style="list-style-type: none">○防災ワークショップ 自分とは異なる立場の人になりきって災害が起きそうな状況を疑似体験する。
4校時	<ul style="list-style-type: none">○防災ワークショップの振り返り○発表 疑似体験で明らかとなった問題点と解決策を班で話し合い、発表する。(自助、共助、公助について考える。)
5校時	<ul style="list-style-type: none">○学校周辺の通学路の危険箇所点検(フィールドワーク) 通学路を点検し、豪雨や地震時の危険箇所を探す。
6校時	<ul style="list-style-type: none">○ハザードマップ作り 確認した危険箇所をマップに記録し、各自のハザードマップを作成する。○防災アクションプランについて アクションプランを持ち帰り、災害が起きそうな状況での家族の行動等を話し合うきっかけとする。○防災クイズの見直し・解答 1日の学習を踏まえて再度解答を見直す。

特別活動	全学年 生徒会活動
4月実施	
学習項目	地区生徒会
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の自分の地区の連絡網や名簿を作成し、必要時に、すぐ活用できるようにさせる。 ・現在の自分の地区の危険箇所・通学路マップ・避難場所と同じ地区的メンバーと担当職員と確認させ、登下校時の安全確保を意識させる。 ・今年度の自分の地区的メンバーの顔や人員数を把握しておき、地区ごとに集合する際、人が欠けていないかなどの異常を察知できるようにさせる。

展開

過程	主な学習活動	備考
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○各地区担当教室に分かれ、地区生徒会を始める。 ○メンバーの出席確認を行う。 ○メンバー・名簿・人員数に間違いがないか確認する。 ○地区長・副地区長・書記を決める。 	地区会ファイル 各地区名簿 確認決定事項記入用紙
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○地区連絡網を作成する。 ○危険箇所・通学路マップの見直し・作成を行う。 ○その他、ボランティアなど地区行事の確認などをする。 	地区連絡網枠 地図・通学路マップ 確認決定事項記入用紙
まとめ	○担当の話を聞く。	

事後指導 地区長は全てのプリントに決定事項を記入して地区会ファイルに綴じ、生徒会担当職員に提出をする。
 各地区担当職員で連絡網をコピーし、メンバーに配布する。

特別活動	全学年 学活 (2) 一キ
6月実施	
学習項目	防災についての意識調査
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害について、どれくらい自分が知識をもっているのか理解させ、危機意識を高めさせる。

展開

過程	主な学習活動	備考
導入	○防災クイズをする。	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○自然災害についてのDVDを見る。 ○意識調査をする。 	DVD「津波から逃げる」
まとめ	○担当の話を聞き、防災についての知識と備えが大切だということを知る。	

特別活動 全学年 生徒会活動

12月実施

学習項目 地区生徒会

指導目標 ・自分の地区の危険箇所を把握し、防災に対しての意識を高めさせる。

展開

過程	主な学習活動	備考
導入	○地区のメンバーを確認する。	地区会ファイル 各地区名簿 確認決定事項記入用紙
展開	○地区の通学路について確認する。 ○事前に写真を撮ってきてるので、地図上に貼りながら、お互いに危険箇所を理解する。(安全マップ作成)	地区連絡網枠 地図・通学路マップ 確認決定事項記入用紙
まとめ	○担当教師の話を聞く。	

※事前に、生徒に自分たちの通学路を記入させ、危険箇所を写真に撮らせプリントアウトさせておく。

※危険箇所マップを作成したら、廊下に掲示する。

特別活動 1年 学活 (2) 一キ

4月実施

学習項目 校内探検

指導目標

- ・校舎内の各教室や非常口・階段の場所等を把握し、災害時の避難経路を理解させる。
- ・消火器・担架・バケツなど防災用具の設置場所を把握し、災害時に活用できるようにさせる。
- ・職員室内の教職員に用事がある場合の出入り・応答の仕方を学び、学校生活で活かせるようにさせる。

展開

過程	主な学習活動	備考
導入	<ul style="list-style-type: none">○学校内の探検を行うことを知る。○グループに分かれる。○担任の話（各教室への出入りの仕方とあいさつ・応答の仕方）を聞く。○グループで、各教室のバケツの位置や消火器の場所などのクイズに答えしていくことを知る。	教室名空欄校舎配置図 職員室出入りマニュアル クイズ用紙
展開	<ul style="list-style-type: none">○グループで校内探検を行う。○全体で解答を確認し、気づきや感想を発表し合う。	クイズ用紙 解答用紙
まとめ	<ul style="list-style-type: none">○個人の感想をワークシートに記入する。○担任の話（避難経路・防災用具の活用方法）を聞く。	ワークシート

特別活動 1年 学活 (2) 一ウ・カ

11月実施

学習項目 ボランティア活動の意義の理解と参加

指導目標

- ・復興支援となるボランティアとは何かじっくり考えることで、社会の一員としての自覚と責任を果たす態度を養い、ボランティア活動の意義について理解させる。

展開

過程	主な学習活動	備考
導入	<ul style="list-style-type: none">○被災地における真の支援となりうるボランティア活動とは何かを考える。	
展開	<ul style="list-style-type: none">○資料から支援ボランティアの困った行動から留意点を見つける。○班に分かれて意見を交換する。	資料：「RSA JAPAN の ブログ」
まとめ	<ul style="list-style-type: none">○私たちにできることを考える。○復興支援の映像を見る。	ユーチューブより「東北 地方太平洋沖のいい話」 の映像

特別活動 1年 学活 (2) 一カ

12月実施

学習項目 「実際に自分たちにできることを実践する」

指導目標

- ・今生活している中で、ボランティア活動などができるいかを考えさせる。
- ・ボランティア活動で、人の心の支えになれることを理解させる。

展開

過程	主な学習活動	備考
導入	○自分の知っているボランティア活動の種類を発表する。	
展開	○被災地だけでなく、身近にできるボランティア活動について調べる。	・パソコン室で授業を行い、調べ学習を行う。
まとめ	○ボランティア活動で感謝された方の手紙などを紹介し、助け合うことのすばらしさを理解する。 ○今からでもできるボランティア活動について自分なりに考える。	・集団で行ったり、イベントなどに参加したりして行うものがボランティア活動ではなく、人のために行動できることが大事であることを伝える。

※事後指導として、生徒会活動などで行っているボランティア活動についても真剣に考えさせる。

特別活動 2年 学活 (2) 一キ

11月実施

学習項目 「自分の命は自分で守ろう」津波のメカニズムを知り、巨大なエネルギーについて認識しよう。

指導目標
・自然災害についてのメカニズムを知り、どのような場所でどのような災害が起こる可能性があるかを考えさせる。

展開

過程	主な学習活動	備考
導入	○津波の映像を見る。	・パソコン室で授業をする。
展開	○津波のメカニズムを知り、津波のエネルギーの凄さを知る。 ○自然災害について鷹島や九州で起こりそうな自然災害について考える。 ○パソコンを使い、自然災害について調べる。	・気象庁から出ている、津波実験の様子を見せ、波と津波の違いをきちんと理解させる。 ・個人で調べ、ワークシートにまとめる。
まとめ	○さまざまな自然災害について学び、人間の力では勝てない自然の力であることを理解する。また、そのような災害の被害を最小限に抑えるような生活をしなければならないことを理解する。	

特別活動 2年 学活 (2) 一キ

11月実施

学習項目 「自分の命は自分で守ろう」津波について知り、自らが動く方法を見つけよう。

指導目標
・安全に避難する方法や情報の入手手段などを理解させる。

展開

過程	主な学習活動	備考
導入	○津波に遭遇した場合、安全に避難するプロセスを考える。	・DVD「津波・TUNAMI」スマトラ沖の津波の映画の一部を見せる。
展開	○安全に避難するまでの流れを知る。 1 情報の入手について知る。 2 避難行動開始の判断について資料から考える。 3 避難経路の選択について考える。	・DVD「海上保安官が見た巨大津波と東日本大震災復興支援」を一部見せる。
まとめ	○安全に避難するまでのプロセスと、避難する際の注意点を確認する。	

※事後指導として、自分の家から避難する場合を考えさせ、プリントに記入させる。

12月実施

学習項目 「自分の命は自分で守ろう」災害後の暮らしと備えについて知ろう。

指導目標 • 災害後、被災地の方が、どのような困難な生活を送っているかを考えさせ、自分たちにできる災害の備えについて考えさせる。

展開

過程	主な学習活動	備考
導入	○仮設住宅の写真を見る。3.11でどのくらいの仮設住宅が作られたかを知る。 	• 仮設住宅の写真を準備する。
展開	○仮設住宅の方の生活について、資料を見て考える。	• ワークシートを用意させ、仮設住宅での不便さなどを想像で書かせる。 • ユーチューブの動画で、「仮設住宅の生活をする方の現状」を映した動画を見せる。
まとめ	○今後、もし、このような災害が起きた場合を考え、自分たちが今できることや被害を最小限に抑えるために何ができるかを考える。	• ワークシートに家の配置図を書かせ、安全性を高めるためにできることを書かせる。

※事後指導として、意識調査で、家庭で家具の固定など、取り組んだかどうかチェックする。

特別活動	3年 学活 (2) キ 11月実施
学習項目	世界の自然災害
指導目標	・自然災害について世界に目を向けて考えさせて、被害を受けた国に対して、世界中の人が支援をしている実態を紹介し、助け合っていく生き方を理解させる。

展開

過程	主な学習活動	備考
導入	<p>○資料を見る。</p> <p>1. 東日本大震災（2011年、日本）</p>  <p>まだ記憶に新しい昨年の3月11日に起きた東日本大震災、震災死者は2012年1月5日現在で1万5544人、被災に巻き出された行方不明者は460人となっている。被災の影響は東京だけではなく、これを発電する原子力発電所の事故へと繋がる。食料無げの状況による、東日本大震災による経済的な損失が最も大きいとされる。東日本大震災による経済的損失が最も大きいとされ、完全な復旧には5年かかるとされた。</p> <p>2. 阪神・淡路大震災（1995年、日本）</p>  <p>平成7年、兵庫県南部で起きた大規模な地震、震災死者数は6,446名で、5市町にあたる約500人は本庄市が領有し、本庄の下敷きになつて転死したとされる。これをきっかけに、日本では震災性を含め入れて震災基準法が改正された。阪神・淡路大震災の損害が約10兆円だった。同年10月1日に実施された震災基準の震災震度では神戸市の人口が約142万8792人となり、震度による市内の死亡者数4571人を大幅に超過する約10万人もの人口が減少した。</p> <p>3. ハリケーン カトリーナ（2005年、アメリカ合衆国）</p>  <p>2005年8月末にアメリカ合衆国南部を襲った大型のハリケーン、ハリケーンの強風を受けるフロリダ州で最大時速が約150km/h、ルイジアナ州上陸時で約150km/hを記録した。また、約25万500人が豪雨で避難したビーストのアストロード跡地では、豪雨桂井水が無差別攻撃し、約150人が犠牲された。被災の犠牲だけでも約1650人(約16億円)にのぼる。</p> <p>4. ノースリッジ地震（1994年、アメリカ合衆国）</p>  <p>米国史上最も歴史的震害の大きさをもつ地震であるノースリッジ地震は、1994年1月17日にアメリカ南西部カリフォルニア州ロサンゼルス市ノースリッジ地方で発生したものだ。モービルマリニッシュ曰く、「だが、震源は14キロほど離れて振った。震度を避けた人は、死者57名、負傷者 約5400人、入院447名にのぼる。この地震から1年後には、日本では阪神・淡路大震災が起きた。」</p> <p>5. 四川大地震（2008年、中国）</p>  <p>中国歴史史と巻きの自然災害と言えば、四川大地震である。この地震による死者は8万2971人、負傷者は1万4761人にのった。地震によって道路や電力・水道・通信などライフラインが寸断された。地震発生当時のマグニチュードは7.9M以上で、いずれも震度7型地震ついで震度最大級の震度だった。多くの犠牲者が救われる地域で起きた地震であったため、大震災などにも大きな影響を及ぼした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界中で被害の大きかった自然災害について、いくつか紹介する。 <p>※インターネットより画像を印刷する。</p>
展開	<p>○映像を見て、被害の大きさを考える。</p> <p>○どのような支援ができるか自分の考えを記入する。</p> <p>○災害が起きたとき、世界中からどのような支援をしてもらったか教師の説明を聞く。</p> <p>○身近にできるボランティア活動や社会生活に浸透してきているボランティア活動について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに自分の考えを記入させる。 ・「ハリケーン カトリーナ」「ノースリッジ地震」などの動画を見せる。
まとめ	○ボランティアの意味について話を聞く。	教師による説話

特別活動 3年 学活 (2) 一か

11月実施

学習項目 ボランティア活動について、世界に目を向けよう。

指導目標 • 世界中のボランティア活動について目を向け、その意義や思いを理解し、自分自身を振り返る。

展開

過程	主な学習活動	備考
導入	○国際的に行われるボランティア活動について考える。	・パソコン室で授業をする。
展開	○学校で行っている募金について詳しく調べる。 ○ボランティア活動に参加する方法などを調べる。 ○ユニセフなどのボランティア活動について調べ学習をする。	・毎年行っている募金活動などに关心を持たせる。
まとめ	○国境を越えて、人助けをすることについて考える。自分が今まで受けた手助けで嬉しかったことなどを記入し発表する。	

※事後指導として、思いを行動に移せるように、「世のため・人のために」活動することに力を入れる。